

(別紙3)

文起第922号-1

令和元年9月26日

(施設名) 米子市立山陰歴史館

(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団

(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司

平成30年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日(8年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

特に、利用促進に関する業務では、前年度から引き続き、美術館と連携した企画展割引券の発行や米子城に関する展示、明治150年米子など市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施するなどの工夫が見られ、施設利用者数も前年度を上回っていることは高く評価できる。

今後も更なる取り組みを行うことで、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

・適正

・事務室と資料室(図書収蔵室)の連絡改善。

・来客応接、資料を点検するスペースが無いのは残念。

・内部のいたみが酷く、なんとか改修をお願いしたい。

・旧庁舎を転用しての施設であり、展示及び資料保存に適さない面があるが、工夫と努力によって来業を遂行されていることに敬意の念をいただく。

・風格のある建物ですが、雰囲気が暗い。

・利用者数の増加に向け、さまざまな形での情報提供がなされ、工夫を凝らしている状況がよくわかる。

・外観はきれいだが、館内に入ると暗く、施設が老朽化しているのが瞭然で残念な印象が強い。HPで注意を呼びかけているが、館内に冷房設備がないのは観光で来られた方にはマイナスだと思われる。給水設備やお手洗いのリニューアルなども含め、観光スポットの一つになるような改善が必要。

② 管理について

- ・妥当と考えます。
- ・救急救命・防災の訓練研修など、資料、能力の向上を図られていることは好ましい。
- ・古い建物を精一杯管理しておられる。
- ・規定通り、適切な管理がなされ、館内外の清掃も行き届いている。殊に、展示物及び保存管理資料、或いは、来館者に対して、夏の高温化に対す対応がなされたことに賞讃する。
- ・協定書に基づき、日常の施設の設備点検や修繕業務等適切に行われている。
- ・歴史的な背景もある、米子市にとっても重要な建造物の歴史館、築後の日数も相当数経っており日々の清掃維持・保守点検・保安などの業務が協定書に基づき、適切に管理されていて良い。
- ・展示されている物についてはよいと思うが、そうでない所蔵品の管理・保存が適切に行われているか、分らない。館所蔵の物品・資料の目録が、整理された形であるのか、またそれを館外の利用者がどのような形で見ることができるのか、明示してほしい。

③事業について

- ・米子市史の販売促進、PR。
- ・米子市史の利用・活用法の検討。
- ・米子城下町の復元（現地図と対比）。
- ・事業収入は増収の数字、継続へ。
- ・いろいろ工夫して努力しておられるのがわかる。
- ・「大山開山1300年祭」等時期に即応したり、郷土の歴史的事項を主題として、企画展を開催し、郷土の歴史への興味を高めるなど、入館者増にも努力されている。又、広報活動にも努力されていることが把握できる。
- ・自主事業のほか、他の公的施設と連携を図ったり、急な要望に応えるなど臨機応変に対応されていてよい。
- ・市民の要望を取り入れた展示や、工夫を凝らした企画展など良質の情報や展示を市民・来館者にわかりやすく資料提供され、素晴らしい。
- ・常設展でも充実した内容の展示品・資料があり、ぜひ県外の人にも多く見てほしいと思う。受付で扱っていた米子城資料も非常に学術的な価値のあるもので、多くの人に活用してほしい。ただ、手書きでは信頼度が低くなるので、活字化すべきである。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努め、関係機関や他施設と連携協力のもと引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら企画展、ソフト事業等の内容を検討することで、入館者数がさらに増加することに期待したい。

【第三者評価】

- ・外国人増加に対する対応を考える。
- ・他館とも運営委員の活用を検討する。

・現在一般に公開している展示物は、所蔵品のごく一部に過ぎない。資料整理を進め、展示内容を豊かにしていただきたい。願わくは、米子の「古代」「中世」「近世」「近代」「民俗」を、部屋毎に見ることができるようになることが望ましい。

・要望により、夏休み期間に「戦争資料の展示」を実施されたとのことだが、太平洋戦争終結から74年が経過する現在、この展示の取組みは続けてほしいと考える。

・県外客も多数利用されています。やはり、情報網がインターネットのため、インターネットの充実の程。

・アンケートの意見や感想を検証し、次の事業につなげて欲しい。

(別紙2)

平成30年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表〔令和元年8月〕

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整えられている。 また、救急救命・防災のための訓練や研修に参加している。 [資料等確認]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	財団主催の研修のほか、米子市などの外部で実施されている研修にも参加し、職員に必要な資質・能力の向上を図っている。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示をはじめ、広報よなご、ホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供などにより、利用者拡大のために努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	利用者数は前年度より上回っている。[資料等確認]

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	<p>日常業務の窓口で受けた利用者からの要望を迅速に担当者へ報告するとともに、企画展や講演会でのアンケート実施による利用者の要望の把握を行い、その実現に向けて努力している。</p> <p>[資料等確認・立入調査]</p>
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、電気・水道・消防設備等の点検を適切に行っている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づき、定期清掃を行なうなど施設内の清掃や植栽の管理等を適切に実施している。第三者による業務は最小限のものである。[資料等確認、立入調査]</p>
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、保安・警備業務が適切に実施されている。第三者の行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書の基準に基づいて、屋根の一部修繕、漏水調査、換気扇の修繕、受付のエアコン取付が実施されている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。</p> <p>[資料等確認]</p>
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	<p>事業計画書の内容に沿った自主事業が実施されている。昨年と同様に、資料を借用するなど他の公的施設と連携を図る事業の展開が出来ている。</p> <p>また、夏休み期間に「戦争資料の展示」をしてほしいという要望により当初の事業計画にない展示を実施している。</p>

			[資料等確認、立入調査]
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	歴史館内の資・史料については、歴史館条例に沿った書式で対応した。[資料等確認]
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設のあり方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。[資料等確認]
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケートの実施や窓口対応等を通じて、来館者からの要望・意見の把握を日々行い、事業計画書には利用者への具体的なサービス向上策が提案されている。 [資料等確認]
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づいて、職員が日常的な清掃・点検等の業務を行い、細かくチェックすることで良好な状態が保たれている。 [資料等確認、立入調査]
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	事業実施計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案され、利用者への接客・対応は適切である。企画展「大山周辺の石造物～石塔・石仏～」、「石に刻まれた祈り2」において、パネル展示ではあるが、当時の様子が分かるように工夫を凝らした展示にするなど、利用者サービス向上の工夫のひとつと考える。 [資料等確認、立入調査]
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	市民に親しみながら歴史的価値を知ってもらえるような内容であった。企画展「大山周辺の石造物～石塔・石仏～」、「石に刻まれ

				た祈り2」では、写真や拓本などを展示し、その歴史を辿りました。また、弓浜緋の機織り体験や糸紡ぎ体験の場を提供することで、利用者に郷土の歴史や弓浜緋への興味関心を高める機会となった。[資料等確認、立入調査]
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設の設置目的に沿って、市民の知ることの少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。 [資料等確認、立入調査]

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※4	B	妥当である。 [資料等確認]

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理運営を行っており、利用促進業務、自主事業の実施に関する業務、運営業務、自主事業については、優れた水準であった。</p> <p>中でも、市民の親しみやすさを意識したテーマ選択がなされた点や、利用者の希望に応じた柔軟な対応が取られた点は、施設の利用促進とサービスの向上に資するものであったと高く評価できる。今後も更なる工夫がなされ、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。</p>	<p>合計点 (70) 点 / (100) 点 × 100 = (70)</p> <p>平均点 (3.5) 点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方針等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕A	前年度〔平成29年4 ～平成30年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	306	304	2、100.66 (%)	
施設利用者数	16,201	15,652	549、103.51 (%)	
施設稼働率	100%	100%	0、 (%)	
事業開催数	261 (企画展展示日数)	198 (企画展展示日数)	63、131.82 (%)	企画展の開催日数の増加

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕A	前年度〔平成29年4 ～平成30年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
指定管理料	21,504,000	20,512,000	992,000、104.84 (%)	
事業収入	553,060	494,620	58,440、111.82 (%)	
補助金等収入	0	36,855	△36,855、 - (%)	
雑収入	3,510	16,650	△13,140、21.08 (%)	29年度は大量に有料コピー依頼があったため
合計	22,060,570	21,060,125	1,000,445、104.75 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕A	前年度〔平成29年4 ～平成30年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合 は増減理由を記載
人件費	13,796,334	13,262,521	533,813、104.02 (%)	
施設管理費	6,294,585	5,526,339	768,246、113.90 (%)	
旅費交通費	180,560	0	180,560、 - (%)	
通信運搬費	204,999	203,552	1,447、100.71 (%)	
手数料	95,850	39,800	56,050、240.83 (%)	30年度に粗大ごみを廃棄したためその手数料
備品購入費	93,312	93,096	216、100.23 (%)	
消耗品費	616,030	545,873	70,157、112.82 (%)	
修繕料	575,856	130,140	△445,716、44.24 (%)	30年度は、漏水調査を行ったことと、展示ケースのコマの修繕を行ったため
印刷製本費	163,760	32,450	131,310、504.65 (%)	チラシの印刷を行った
光熱水費	833,989	924,809	△90,820、90.18 (%)	

燃料費	318,743	377,988	△59,245、84.33 (%)	
賃借料	830,705	1,016,012	△185,307、81.76 (%)	
租税公課	1,092,700	1,105,000	△12,300、98.89 (%)	
負担金	23,107	35,507	△12,400、65.08 (%)	当該支出の内容が少なかったため
委託料	1,264,974	1,022,112	242,862、123.76 (%)	
事業費	2,009,409	1,691,249	318,160、118.12 (%)	
旅費交通費	75,882	40,688	35,194、186.50 (%)	出演者交通費及び、調査旅費
通信運搬費	19,284	18,553	731、103.94 (%)	
手数料		17,961	△17,961、— (%)	
消耗品費	528,012	335,086	192,926、157.58 (%)	資材購入費増
印刷製本費	583,806	163,125	420,681、357.79 (%)	図録印刷費増
食糧費	11,163	2,366	8,797、471.81 (%)	出演者用ケータリング
保険料	0	22,520	△22,520、— (%)	
賃借料	5,790	145,800	△140,010、3.97 (%)	
諸謝金	70,662	38,979	31,683、181.28 (%)	出演者及び講師謝金増
委託費	714,560	881,580	△167,020、81.05 (%)	
負担金	250	24,591	△24,341、1.02 (%)	負担金支出が少額だったため
合 計	22,100,328	20,480,109	1,620,219、107.91 (%)	

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔平成30年4 ～平成31年3月〕A	前年度〔平成29年4 ～平成30年3月〕B	対比 A-B、A/B	備 考
① 事業収支	△39,758	580,016	△619,774、— (%)	
② 利用料金比率	0	0	、 (%)	
③ 人件費比率	62.43	64.75	△2.32、96.42 (%)	
④ 外部委託費比率	5.72	4.99	0.73、114.63 (%)	
⑤ 利用者当たり管 理コスト	1,364	1,309	55、104.20 (%)	
⑥ 利用者当たり自 治体負担コスト	1,327	1,311	16、101.22 (%)	

①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	備考
①自己資本比率	44.1	57.7	51.0	55.1	44.9	
②流動比率	182.1	304.5	238.4	281.4	191.7	
③固定長期適合率	15.5	15.3	15.9	15.6	11.2	
④総資産経常利益率	-1.8	-6.5	7.6	2.3	4.4	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率}(\%) = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率}(\%) = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率}(\%) = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資産×100 【例】 $200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

平成30年度企画展 米子市新収蔵資料 伝吉川元春寄進桃形兜（展示期間：H30/3/29（木）～6/30（土））

入館者数：1,316人

大山周辺の石造物～石塔・石仏～（展示期間：H30/4/29（日・祝）～6/30（土））

入館者数：783人

- ◆回答者数 225人 男：153人 女：72人
- ◆年代 10歳未満：1人 10代：3人 20代：17人 30代：17人 40代：29人
50代：33人 60代：34人 70代：78人 80代以上：12人
- ◆お住まい 米子市：71人 境港市：8人 西伯郡：8人 日野郡：1人
上記以外の鳥取県内：12人（鳥取市・倉吉市・東伯郡）
県外：121人（鹿児島県・長崎県・熊本県・福岡県・山口県・広島県・島根県・岡山県・愛媛県・
兵庫県・大阪府・京都府・三重県・和歌山県・愛知県・神奈川県・東京都・千葉県
・埼玉県・栃木県・宮城県・北海道）
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター：53人 新聞：12人 テレビ：4人 ラジオ：2人
インターネット：36人 市報：20人 その他：109人
- ◆展示内容、展示方法について
大変良かった：68人 良かった：115人 まあまあ良かった：25人 普通：10人
あまり良くなかった：2人 良くなかった：2人

◆記述欄（一部）

- ・企画展は、自分が地域の人でないので、道標の位置関係がわかりにくかった。しかし、拓本は面白かった。
 - ・石仏写真は風景が写りこんでいる。地図におとしてあると良いと思ったら、入口にパネルがあった。古い街道の物語を感じるが、県外人には地名の分りにくい。
 - ・とても興味深く拝見いたしました。現存する実物を見たい気がしました。大山道を巡る企画があるといいですね。
 - ・今から大山に行く参考になりました。
 - ・元春の兜の展示を見に来ましたが、他の展示も大変興味深かったです。
 - ・戦国時代に関心があったので、中村・池田・堀尾の大名の歴史が興味深かった。
- ◆その他 ご意見・ご感想
- ・常設展も興味深く拝見しました。子どもの頃家で見た道具もあり、懐かしかったです。
 - ・建物の外観は歴史館っぽくて良いのに反し、中が残念でした。思い出の教室等現物再現は良かったです。
 - ・空調面から、展示物にダメージが無いかがかり。
 - ・説明文の文字が小さくて読みづらかった。もう少し大きくしても良いかなと。

平成30年度 講演会 「大山の歴史」

講師 米子市立山陰歴史館館長 国田 俊雄 平成30年6月10日(日)

- ◆講演聴講者 61人
- ◆アンケート回収 49人
- ◆性別 男 32人 女 17人
- ◆年代 40代 1人 50代 3人 60代 17人 70代 27人
80代以上 1人
- ◆お住まい 米子市 38人 境港市 1人 西伯郡 2人 日野郡 1人

上記以外 松江市 5人

◆情報の取得について チラシ・ポスター 33人 新聞 10人 インターネット 1人
市報 8人 その他 5人

◆講演について

大変良かった 18人 良かった 16人 まあまあ良かった 7人
普通 4人 あまり良くなかった 2人

◆意見・感想

- ・大山のことは分っているようで、よく知らないことが分かりました。
- ・話自体は面白かったが、途中から大山寺の話からかなり脱線してしまい1時間半で収まり切れなかったのは残念。地獄の話より、大山寺そのものの変遷の話を期待して来たのに、肝心な話が予定オーバーの時間になってしまったのは困りました。一番聞きたかったところが駆け足で終わってしまいました。せっかくの話しなので時間配分を考えてほしかったです。
- ・少し知らない言葉・名前があり戸惑ったところもありましたが、面白い流れがあったりして面白かったです。
- ・豪円僧正と米子城の因縁の話しが聞きたかった。
- ・大山寺の生い立ちが詳しく分かり良かったです。

平成30年度企画展 石に刻まれた祈り2 -サイの神- (展示期間：H30/12/9(日)～H31/4/21(日))

明治150年 近代米子の発展をたどる (展示期間：H31/2/10(日)～H31/3/24(日))

企画展 石に刻まれた祈り2 -サイの神- 入館者数：2,657人

企画展 明治150年 近代米子の発展をたどる 入館者数：694人

◆回答者数 382人 男：239人 女：132人

◆年代 10歳未満：10人 10代：10人 20代：31人 30代：37人 40代：59人
50代：63人 60代：83人 70代：60人 80代以上：20人

◆お住まい 米子市：132人 境港市：9人 西伯郡：13人 日野郡：0人

上記以外の鳥取県内：13人(鳥取市)

県外：200人 (沖縄県・鹿児島県・宮崎県・福岡県・山口県・広島県・島根県・岡山県・
兵庫県・香川県・愛媛県・大阪府・京都府・奈良県・岐阜県・愛知県・長野県・
静岡県・神奈川県・東京都・群馬県・埼玉県・山形県・台湾・韓国)

◆情報の取得について チラシ・ポスター：88人 新聞：43人 テレビ：11人 ラジオ：0人
インターネット：62人 市報：23人 その他：153人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：125人 良かった：180人 まあまあ良かった：45人
普通：23人 あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆記述欄(一部)

- ・戦時中の米子市の様子について、詳しく知ったのは初めてだった。夜見神社の当時の様子も見ることが出来、とても良かった。

- ・元米子市民だが、サイの神の意味や、こんなに多く残っていることが分かった。
- ・米子の昔の街並みからいろんな事が読み取れて興味深く拝見しました。
- ・サイの神について初めて知識を得た。
- ・「明治 150 年」はコンパクトに展示されていた。「サイの神」はパネル写真が展示されていたが、それぞれの特長がわかりにくかった。
- ・明治時代の写真地図の多さと保存の良さに感心しました。
- ・大山の歴史の写真パネルがどれもよかったです。

◆その他 ご意見・ご感想

- ・昔の道具・日用品の展示が興味深かった。
- ・施設維持管理は大変だと思うが、必要であると考えるので、今後も運営を続けていただきたい。
- ・無料でよかったです。
- ・古民具の展示。物もよく、特に風呂（マキでたく）カマ、つるべが見ごたえがあった。
- ・古地図の読めない字はわかるものは現代風に書いては？。
- ・販売しておられる資料がすばらしかった。
- ・せっかく価値の高いものを展示しているのに雰囲気は暗い。一部を屋外に展示して道行く人にPRするのはどうでしょうか。